

第11期 第7回 鳥取市校区審議会 議事録

1 日 時 平成24年10月12日（金）14時00分～15時40分

2 会 場 鳥取市役所駅南庁舎 B5会議室

3 出席者 【委員】

渡部昭男委員(会長)、岩崎憲一委員(副会長)、渡辺勘治郎委員、大西孝雄委員、西尾裕子委員、長尾志保委員、上山弘子委員、神谷正恵委員、有本喜美男委員、前田多喜男委員、横西経雄委員、福安 修委員

欠席：倉持裕彌アドバイザー

【教育委員会（事務局）】

松ノ谷博次長、平井圭介参事、橋本浩之課長補佐、清水圭二主任

4 会議次第

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 議事録署名委員の選任 （長尾委員、上山委員 選任）
- 4 報告
 - (1) 第6回校区審議会概要について
 - (2) 9月市議会における一般質問について
 - (3) 佐治中学校・用瀬中学校統合の準備状況について
 - (4) 学校運営経費および地方交付税について
- 5 議事
 - (1) 校区再編について
- 6 その他
- 7 閉 会

5 議事の概要

事務局 第7回の鳥取市校区審議会を開会させていただきます。倉持アドバイザーがご欠席です。西尾委員は1時間近く遅れて出席されます。福安委員は少し遅れられるということです。

本日は過半数のご出席がありますので会議は成立いたします。それでは渡部会長にごあいさついただき進行をお願いします。

会 長 皆さんこんにちは。今回は耐震化計画の問題など新たな要素が出てきましたのでその点についてお諮りしたいと思います。議事録署名委員ですが、順番により上山委員さんと長尾委員さんをお願いします。それでは事務局から報告事項をお願いします。

事務局 報告(1)～(4)について説明

会 長 報告内容について何かございますでしょうか？
それでは、今日のメインの内容に入らせていただきますので事務局からご説明下さい。

事務局 議事1 について説明

会 長 ありがとうございます。それではここでしばらく休憩をとります。
(休憩)

会 長 それでは再開します。少し大きな事柄が新たに追加になりましたが、まずご質問などがあればいただきたいと思います。

委 員 鹿野中学校については、鹿野小学校との小中一貫ということはないのでしょうか。

事務局 方法としてはあり得ますし、地域の中ではそれを希望される方があるかも知れませんが、今までの議論をふまえて考えますと、中学生は統合が可能であれば統合によってなるべく大きな規模の中で、部活とか交友関係をしっかりと持つことが大切ではないかと考えます。小中一貫校によって人数を増やすことは出来ますが、部活などの問題はやはり残ります。湖南学園の場合は、位置的な問題から地域が小中一貫校を選択されたものと思いますが、問題が解決しない面もあると思います。気高中、鹿野中、青谷中については、何とか統合は可能な状況にあるのではないかと思います。

委 員 (気高町内の小学校の施設の状況について確認)

事務局 気高の4小学校のうち、耐震補強が必要なのは浜村小学校だけです。

委 員 通学距離についてですが、鹿野や青谷からの通学距離はどの程度でしょうか。

事務局 鹿野でいいますと、浜村から13～14キロです。

委 員 桑原から青谷駅までで9キロくらいです。

会 長 今後の進め方について、当面はまだオープンにできない部分もありますが、どのように進めていくことになりますか。資料にもありますが当面はもう少し、市教委内部での基本的な検討が必要だということでしょうか？

事務局 資料のとおり1カ月程度は検討に要すると思います。その後で、これから関係者に情報提供する内容や手順、進め方について次回この審議会にお諮りしたいと考えています。

委 員 地域とのやりとりについては、地域審議会に諮るということになりますか？

事務局 一番の中心は地域審議会になると考えています。

委 員 統合について検討ということになった場合、耐震化の時期が遅くなるということであれば、少し気になります。

事務局 新たに浮上した話ですので、地域や保護者の意見を伺って判断するというための期間が加わります。その分は現在の予定より1年完成が遅れることは予想されます。ただし、整備の内容によっては、プレハブを建てることも考えられます。その場合はプレハブとはいえ耐震性はありますので、その時点で安全は確保されます。

委 員 急な話のように感じますが、以前からこのような話があったのでしょうか？

事務局 両校の耐震診断結果が出たのが最近のことであり、その結果が予想以上に悪く整備内容を再度検討する中で出てきた話ですので、急な話ですが提案させていただきました。

委 員 通学距離を考えたら、寄宿舎を用意するなどということを考えてもいいのではないのでしょうか？

- 委員 青谷町でいいますと、寄宿舎までは不要ではないかと思えます。
- 委員 方法のひとつとして提示することはよいと思いますが、私も寄宿舎というのは不要だと思います。鹿野の一番奥で14キロということでしたが、佐治の一番奥から千代南までも同じくらいですので通えると思います。統合については、年配の方は反対し保護者の方は賛成するという構図がほとんどのところであると思いますが、これから社会を担う世代の将来を考え、反対を恐れるのではなく、早い段階で情報を提供し保護者世代の方々を中心として理解してもらいたいと思います。
- 委員 小学校を統合した青谷では、スクールバスはあるのでしょうか？また、南部地域での新たな公共交通の計画は、西地域ではどうでしょうか？
- 事務局 当初は一部でスクールバスを運行していましたが、現在は地域バスというような形態になっています。新交通体系の計画のことはまだ聞いていませんが、確認しておきます。
- 委員 基本的には、公共交通を使っていくべきだと思います。
- 事務局 公共交通機関の利用という点で、JRの利用も想定しています。
- 委員 中間とりまとめについては、時期が遅れる場合でもある程度の整理した考え方の提示という点で、必要だと思います。
- 委員 今回の提案については基本的に賛成ですが、この部分だけ先行実施するのではなく、今まで検討してきた他地域の再編も実施すべきだと思いますし、この案を出すタイミングが難しいと思います。
- 事務局 再編時期を遅らせるというのではなく、中間とりまとめについて、今回施設面の問題が持ち上がったので様々な検討が必要になり、とりまとめが少し遅れるということです。
- 会長 今までの議論や案は公表していますので、仮に修正が入ったとしても、中間とりまとめの内容はしかるべき時期に公表すべきだと思います。
- 委員 本日のまとめとしては、事務局から説明のありました見直しについて、大局的に将来も見越したうえで妥当であれば、また児童生徒の教育環境等も踏まえたうえで、児童生徒本位の立場に立って検討すべきであれば、事務局に作業を進めていただき、我々委員は状況を見守っていく段階だと認識しています。
- 委員 地域審議会の設置期限がありますので、早めに話を進めることも考えるべきだと思います。
- 委員 こういう機会に、自治会の単位がなるべく1地区1小学校になるよう自治連合会にも取り組んでいただければと思います。ひとつの学校が複数の地域とのかかわりを維持するのも大変な部分がありますし、あとあと問題が残ったままになりますので。
- 委員 自治会関係者や保護者へ統合の話を理解していただくためには、十分な説明をしていただくことが必要になると思います。

委員 今回耐震診断結果により2中学校の整備の見直しが出てきていますが、他の学校ではそういう可能性のあるところは残っていませんか？

事務局 ないと思います。

委員 西部の学校については、説明があったように見直しを進めていくしかないと思いますが、市全体のことを見ると、中心市街地の問題をもう少し取り上げてバランスを取るべきかと思います。

委員 この話を、小学校や中学校の校長会で説明していただきたいと思います。

会長 他になければ、今回は以上で終わりたいと思います。

事務局 本日はありがとうございました。こうやって難しい問題ではありますが皆さんに様々な議論をしていただき、先を見据えて考えていきたいと思いました。またよろしくお願ひします。

(閉会)